

特に中高年齢の女性は要注意!

転倒による労働災害を防ごう



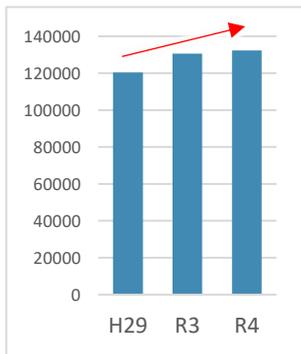
↑↑↑
ホームページには
健康情報が
盛りだくさん!

◆労働災害による死傷者数が増加しています

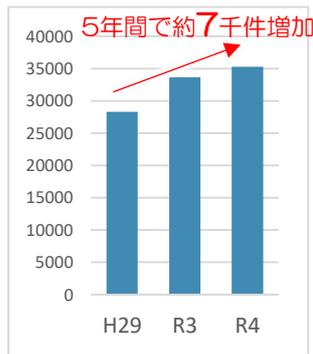
厚生労働省の発表によると、労働災害による死傷者数は近年増加しており、特に転倒災害は労働者の高齢化に伴い、5年間で約7千件も増加しています(表1,2)。

転倒災害の発生率は特に高齢女性で高く、20代に比べると60代以上は約15倍となっています(表3)。転倒した50歳以上の女性の7割が骨折しており(表4)、転倒災害による休業は平均で47日間と見込まれています。

【表1】労働災害による死傷者数



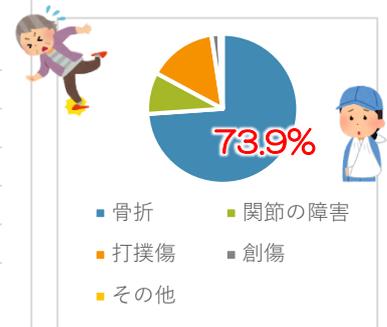
【表2】転倒災害発生件数



【表3】転倒災害発生率(R4)



【表4】50歳以上の女性における転倒災害の傷病性質内訳



出典：労働災害発生状況、第14次労働災害防止計画の概要(厚生労働省)

◆転倒や怪我のしやすさをチェックして、労働災害を防止しましょう!

転倒予防対策のポイントは



厚生労働省が令和5年3月に発表した「第14次労働災害防止計画」では、新たに「転倒予防対策」が追加され、事業者には「転倒災害は“対策を講ずべきリスク”である」と認識することが求められています。特に女性は加齢によって骨密度が低下し骨折リスクが上昇するため、職場環境を整えるだけでなく、体力や骨密度をチェックする・職場体操を行うなどの対策を行うことが重要です。

安全で安心して働くことができる職場づくりは「コスト」ではなく「人的投資」であり、「健康経営」にも繋がります。当協会では企業に出向いて筋力や柔軟性、バランス感覚などをチェックする体力測定を実施したり、運動指導も行っています。また、健診のオプションとして骨密度測定を行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

